

精神神経医学・臨床倫理学講座

スタッフ

教授 鈴木健文 連絡先：takefumi@oak.dti.ne.jp

講師 石黒浩毅 連絡先：hishiguro@yamanashi.ac.jp

ホームページ：<http://www.med.yamanashi.ac.jp/clinical/psychiat/>

精神神経医学・臨床倫理学講座では、精神・こころを形成する「脳」の働きについて、臨床研究とともに、生化学や動物薬理行動学など分子生物学的な手法を用いた基礎医学的研究を行っています。こころの表現型や精神疾患に関わる脳のメカニズムは次第に明らかにされている一方で、現在のテレビ番組や雑誌・書籍では国民受けしやすいだけで未検証の脳科学もどき情報が累々と垂れ流されています。例えば、脳に良いとされる健康食品はどのように、そして、本当に効果があるのか？ 最新科学とうたっている脳画像検査で見えているものとは本当に精神疾患の原因なのか、あるいは病状進行による神経変性という結果を見ているだけなのか？ 検証において原因と結果とを誤認すれば、莫大な資金を投じた新薬開発を失敗に終わらせることにつながり、医学の衰退に直結するのです。皆様には真摯に生命に向き合える人材へ育てていただきたいと思います。

研究室の主なテーマ

<臨床研究>

1. 治療抵抗性精神障害の治療経過と脳機能画像所見の検証 電気けいれん療法（ECT）
2. 周産期の服薬が新生児心機能へ及ぼす影響の解析
3. 染色体疾患における発達障害および精神病症状の易罹患性の検証

☆臨床研究については高学年になりベッドサイド研修の資格が得られるまでは匿名化された医学情報を解析するなど限定されることになると思います。

<基礎研究>

1. 精神障害の病態関連遺伝子の同定と、その遺伝子機能の精神表現型への影響の解明
：統合失調症、感情障害などの精神疾患のゲノム研究、iPS を含めた培養細胞における遺伝子機能解析、遺伝子改変マウスを用いた薬理行動解析・脳組織学的解析。

☆国内大学・研究所と米国を中心とした国際共同研究です。希望者には短期留学体験をしてもらうこともあります。

2. 産後うつバイオマーカー探索

皆さんは将来、精神科疾患の診療に少なからず関わり困惑することもあるでしょう。その時、精神を科学的・生物学的に理解していることが必ず役に立ちます。将来研究を行う上で必要な基本的な知識と実験技術も習得できるようにします。忙しい勉学や部活動に差し障ることなく、こころに興味を持ち一緒に楽しく語りあえる学生さんを募集します。